

発表事項

- 1 令和3事業年度事業状況及び決算
 - (1) 審査支払会計及び保健医療情報会計等
 - (2) 財政調整等特別会計（前期高齢者特別会計、後期高齢者医療特別会計等）

2 診療報酬等確定状況（令和3年4月診療分～令和4年3月診療分）

- 3 審査状況（令和3年5月審査分～令和4年4月審査分）
- 4 役員選任の認可
- 5 懲戒処分
- 6 在宅審査用のノートPCの導入
- 7 令和4年度委託金の状況
- 8 令和3年度診療報酬等債権譲渡・差押等処理状況
- 9 特別審査委員会の審査状況（令和3年5月審査分～令和4年4月審査分）
- 10 令和4年5月審査分の特別審査委員会審査状況

確定件数

- ・令和3年度の確定件数は前年度より10.2%増加したものの、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度と比較すると1.3%減少
- ・特に医療保険では3.3%減少したが、法別28の増加により各法が6.6%増加したため、1.3%の減少にとどまった
- ・診療種別別では歯科と訪問看護を除き令和元年度より減少

単位：万件

■ 制度別

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			対前年度増減率		対前年度増減率	対前々年度増減率
医療保険	92,712 【80.7%】	83,121 【80.7%】	▲10.3%	89,689 【79.1%】	+7.9%	▲3.3%
各法	22,242 【19.3%】	19,832 【19.3%】	▲10.8%	23,719 【20.9%】	+19.6%	+6.6%
(再掲)法別28	0.0435	446		2,164	+385.2%	
総計	114,954 【100.0%】	102,953 【100.0%】	▲10.4%	113,408 【100.0%】	+10.2%	▲1.3%

■ 診療種別

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			対前年度増減率		対前年度増減率	対前々年度増減率
医科	60,852 【52.9%】	54,020 【52.5%】	▲11.2%	60,231 【53.1%】	+11.5%	▲1.0%
歯科	15,270 【13.3%】	14,564 【14.1%】	▲4.6%	15,687 【13.8%】	+7.7%	+2.7%
調剤	38,650 【33.6%】	34,156 【33.2%】	▲11.6%	37,242 【32.8%】	+9.0%	▲3.6%
(再掲)食事・生活	837	762	▲9.0%	796	+4.5%	▲4.8%
訪問看護	181 【0.2%】	214 【0.2%】	+18.0%	248 【0.2%】	+15.7%	+36.6%
総計	114,954 【100.0%】	102,953 【100.0%】	▲10.4%	113,408 【100.0%】	+10.2%	▲1.3%

注1) 令和3年度の確定件数とは、令和3年4月～令和4年3月診療分の再審査分等を調整後の件数である。

注2) 【 】の数値は構成割合である。

注3) 「食事・生活」については、医科・歯科における入院のうち入院時食事療養費または入院時生活療養費が算定された件数である。

注4) 平日の日数は、令和元年度が287日、令和2年度及び令和3年度が291日で、前々年度からの影響度は1.4%増である。

注5) 被用者保険の加入者数を対前年同期と比べると、令和2年4月～令和3年1月平均では0.2%増、令和3年4月～令和4年1月では0.2%減であった。(出典：厚生労働省「最近の医療費の動向」)

注6) 法別28とは感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による一類感染症等の患者の入院(同法第37条)の法別番号であり、新型コロナウイルス感染症に係る給付を行う公費である。

注7) 端数整理上、合計が一致しない場合がある。以下同じ。

確定金額

- ・令和3年度の確定金額は前年度より8.0%増加。新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度と比較しても4.7%増加
- ・診療種別別では食事・生活療養費を除き増加

単位：億円

■ 制度別

	令和元年度	令和2年度		令和3年度		
			対前年度増減率		対前年度増減率	対前々年度増減率
医療保険	103,251 【79.6%】	99,766 【79.3%】	▲3.4%	108,312 【79.7%】	+8.6%	+4.9%
各法	26,491 【20.4%】	26,019 【20.7%】	▲1.8%	27,510 【20.3%】	+5.7%	+3.8%
(再掲)法別28	0.6	357		1,234	+245.3%	
総計	129,742 【100.0%】	125,785 【100.0%】	▲3.0%	135,822 【100.0%】	+8.0%	+4.7%

■ 診療種別

	令和元年度	令和2年度		令和3年度		
			対前年度増減率		対前年度増減率	対前々年度増減率
医科	91,128 【70.2%】	87,436 【69.5%】	▲4.1%	95,311 【70.2%】	+9.0%	+4.6%
歯科	12,015 【9.3%】	12,203 【9.7%】	+1.6%	12,839 【9.5%】	+5.2%	+6.9%
調剤	24,611 【19.0%】	23,996 【19.1%】	▲2.5%	25,326 【18.6%】	+5.5%	+2.9%
食事・生活	1,038 【0.8%】	990 【0.8%】	▲4.6%	974 【0.7%】	▲1.6%	▲6.2%
訪問看護	949 【0.7%】	1,161 【0.9%】	+22.3%	1,371 【1.0%】	+18.2%	+44.5%
総計	129,742 【100.0%】	125,785 【100.0%】	▲3.0%	135,822 【100.0%】	+8.0%	+4.7%

注1) 確定金額とは、再審査分等を調整後の金額である。

注2) 【 】の数値は構成割合である。

電子レセプトの件数、日数及び点数

		合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
件数（万件）	令和元年度	64,514	855	50,471	13,188	32,371
	令和2年度	58,264	770	44,921	12,573	28,957
	対前年度増減率	▲9.7%	▲10.0%	▲11.0%	▲4.7%	▲10.5%
	令和3年度	62,798	794	48,485	13,520	31,227
	対前々年度増減率	▲2.7%	▲7.2%	▲3.9%	+2.5%	▲3.5%
日数（万日）	令和元年度	103,682	9,762	72,265	21,656	39,352
	令和2年度	93,427	8,997	63,712	20,718	34,410
	対前年度増減率	▲9.9%	▲7.8%	▲11.8%	▲4.3%	▲12.6%
	令和3年度	98,617	8,936	68,374	21,307	37,050
	対前々年度増減率	▲4.9%	▲8.5%	▲5.4%	▲1.6%	▲5.8%
点数（億点）	令和元年度	14,810	4,257	5,976	1,553	3,024
	令和2年度	14,265	4,068	5,669	1,583	2,946
	対前年度増減率	▲3.7%	▲4.4%	▲5.1%	+1.9%	▲2.6%
	令和3年度	15,368	4,268	6,329	1,668	3,103
	対前々年度増減率	+3.8%	+0.3%	+5.9%	+7.4%	+2.6%
(再掲) コロナ関連点数を除く	令和元年度	14,810	4,257	5,976	1,553	3,024
	令和2年度	14,129	4,017	5,586	1,581	2,945
	対前年度増減率	▲4.6%	▲5.6%	▲6.5%	+1.8%	▲2.6%
	令和3年度	14,799	4,093	5,957	1,659	3,090
	対前々年度増減率	▲0.1%	▲3.8%	▲0.3%	+6.8%	+2.2%

注1) 件数、日数の合計には、調剤分を含まない。

注2) 調剤の日数とは、処方箋の受付回数である。

注3) 食事・生活療養費を含まない。

医科入院外電子レセプトの件数・点数（診療所の診療科別）

		医科入院外		
		病院	診療所	
件数（万件）	令和元年度	50,471	10,742	39,729
	令和2年度	44,921	9,639	35,282
	対前年度増減率	▲11.0%	▲10.3%	▲11.2%
	令和3年度	48,485	10,375	38,110
	対前々年度増減率	▲3.9%	▲3.4%	▲4.1%
点数（億点）	令和元年度	5,976	2,422	3,554
	令和2年度	5,669	2,364	3,305
	対前年度増減率	▲5.1%	▲2.4%	▲7.0%
	令和3年度	6,329	2,588	3,741
	対前々年度増減率	+5.9%	+6.9%	+5.2%

医科入院外について、診療所の診療科別にみると

- ・件数は、令和2年度より増加、特に小児科では2割を超えて増加
- ・しかしながら、令和元年度と比較すると小児科や耳鼻咽喉科では1割を超える減少
- ・外科の減少は医療機関数の減少（対元年度▲16%）に伴うもの
- ・点数は、外科及び耳鼻咽喉科を除き令和元年度より増加

【医科入院外診療所の診療科別内訳】

		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他
件数（万件）	令和元年度	13,693	3,404	1,079	3,306	4,351	1,578	3,968	4,305	4,045
	令和2年度	11,665	2,489	917	3,201	4,403	1,568	3,677	3,347	4,015
	対前年度増減率	▲14.8%	▲26.9%	▲15.0%	▲3.2%	+1.2%	▲0.6%	▲7.3%	▲22.3%	▲0.7%
	令和3年度	12,772	3,033	931	3,475	4,397	1,691	3,845	3,593	4,374
	対前々年度増減率	▲6.7%	▲10.9%	▲13.7%	+5.1%	+1.1%	+7.2%	▲3.1%	▲16.5%	+8.1%
点数（億点）	令和元年度	1,437	283	125	338	217	146	283	284	440
	令和2年度	1,325	220	110	338	220	149	278	225	440
	対前年度増減率	▲7.8%	▲22.5%	▲11.5%	▲0.2%	+1.5%	+1.7%	▲1.8%	▲20.9%	+0.0%
	令和3年度	1,520	320	115	365	223	160	297	261	480
	対前々年度増減率	+5.8%	+12.8%	▲7.5%	+7.9%	+2.5%	+9.2%	+4.7%	▲7.9%	+9.2%

注) 食事・生活療養費は含まない。

電子レセプトの診療諸率

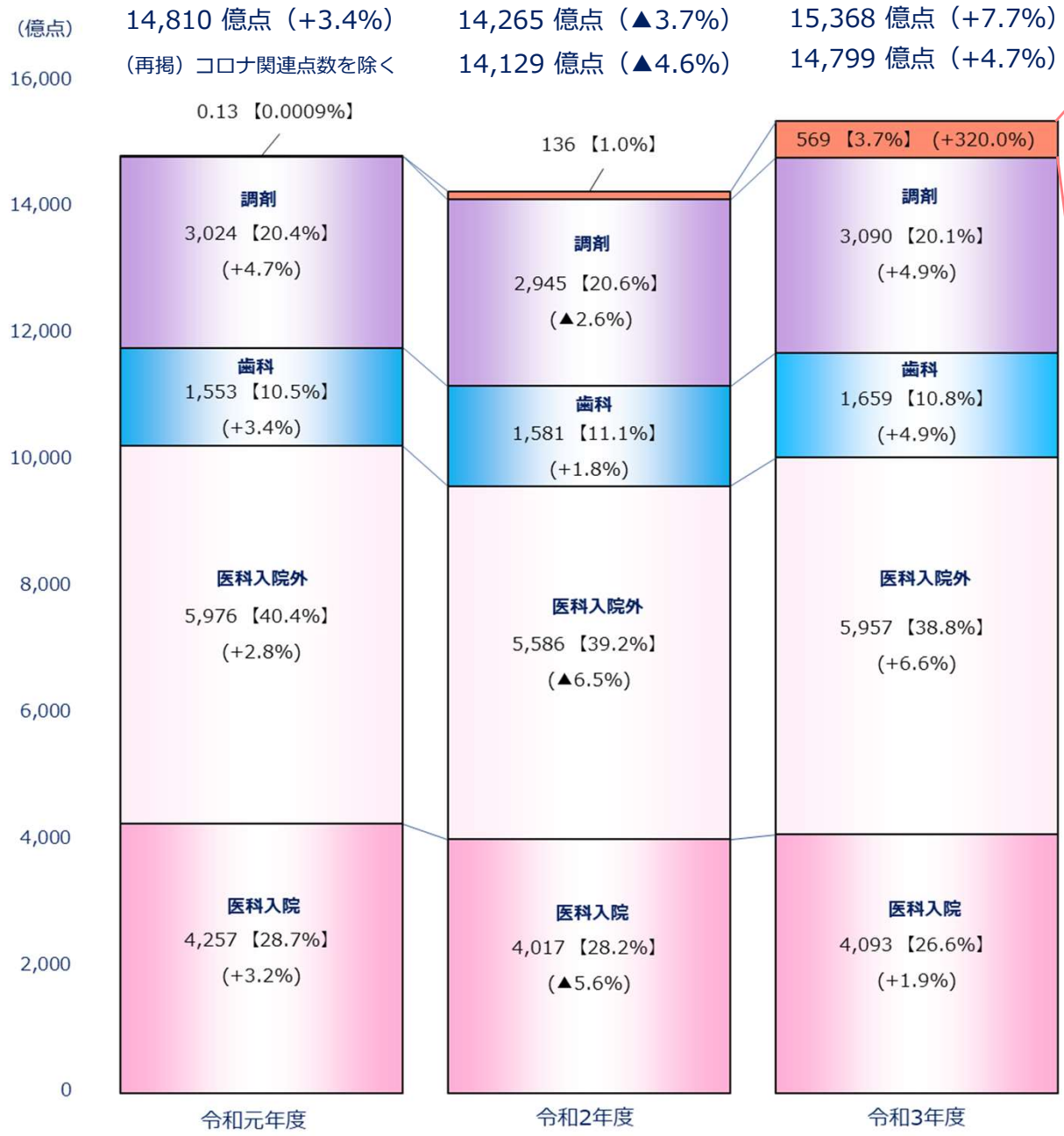
		合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
1 件当たり点数	令和元年度	2,296	49,778	1,184	1,178	934
	令和2年度	2,448	52,836	1,262	1,259	1,017
	対前年度増減率	+6.6%	+6.1%	+6.6%	+6.9%	+8.9%
	令和3年度	2,447	53,756	1,305	1,234	994
	対前年度増減率	▲0.0%	+1.7%	+3.4%	▲2.0%	▲2.3%
	対前々年度増減率	+6.6%	+8.0%	+10.2%	+4.8%	+6.4%
1 件当たり日数	令和元年度	1.61	11.41	1.43	1.64	1.22
	令和2年度	1.60	11.69	1.42	1.65	1.19
	対前年度増減率	▲0.2%	+2.4%	▲0.9%	+0.3%	▲2.2%
	令和3年度	1.57	11.26	1.41	1.58	1.19
	対前年度増減率	▲2.1%	▲3.7%	▲0.6%	▲4.4%	▲0.2%
	対前々年度増減率	▲2.3%	▲1.4%	▲1.5%	▲4.0%	▲2.4%
1 日当たり点数	令和元年度	1,428	4,361	827	717	768
	令和2年度	1,527	4,521	890	764	856
	対前年度増減率	+6.9%	+3.7%	+7.6%	+6.5%	+11.4%
	令和3年度	1,558	4,776	926	783	838
	対前年度増減率	+2.1%	+5.6%	+4.0%	+2.5%	▲2.2%
	対前々年度増減率	+9.1%	+9.5%	+11.9%	+9.2%	+9.0%
(再掲) コロナ関連点数を除く	令和元年度	1,428	4,361	827	717	768
	令和2年度	1,512	4,464	877	763	856
	対前年度増減率	+5.9%	+2.4%	+6.0%	+6.4%	+11.4%
	令和3年度	1,501	4,580	871	779	834
	対前年度増減率	▲0.8%	+2.6%	▲0.6%	+2.0%	▲2.6%
	対前々年度増減率	+5.1%	+5.0%	+5.3%	+8.6%	+8.5%

注1) 調剤の日数とは、処方箋の受付回数である。

注2) 食事・生活療養費を含まない。

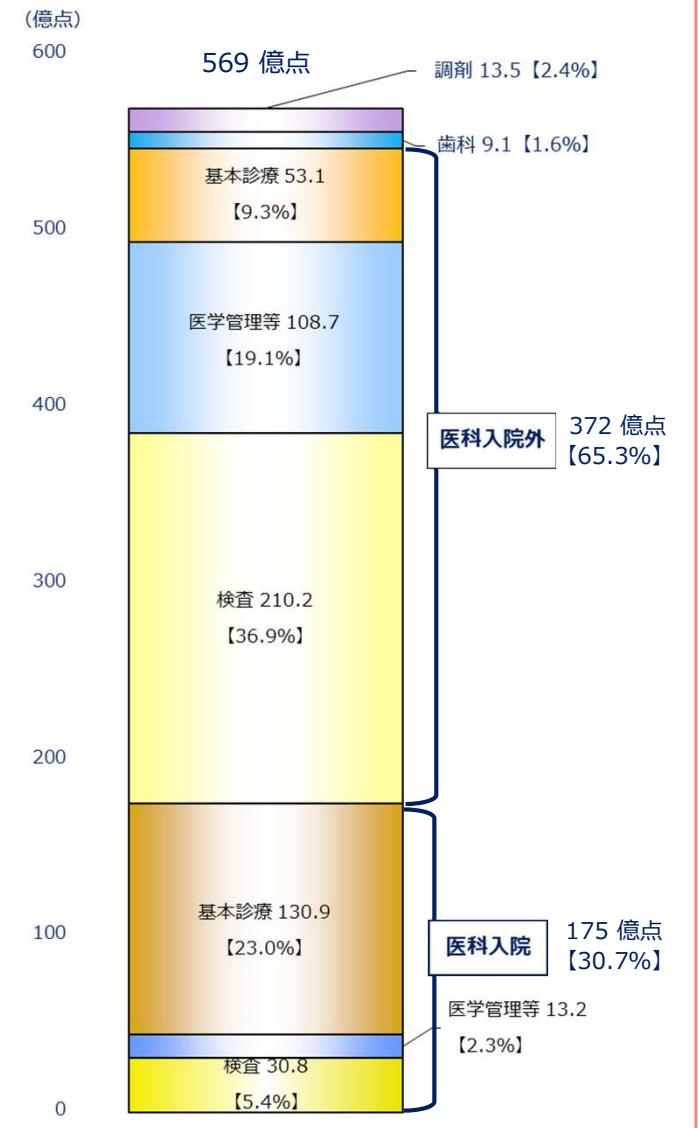
電子レセプトの総点数の推移

【 】内の数値は構成割合
 ()内の数値は対前年度増減率

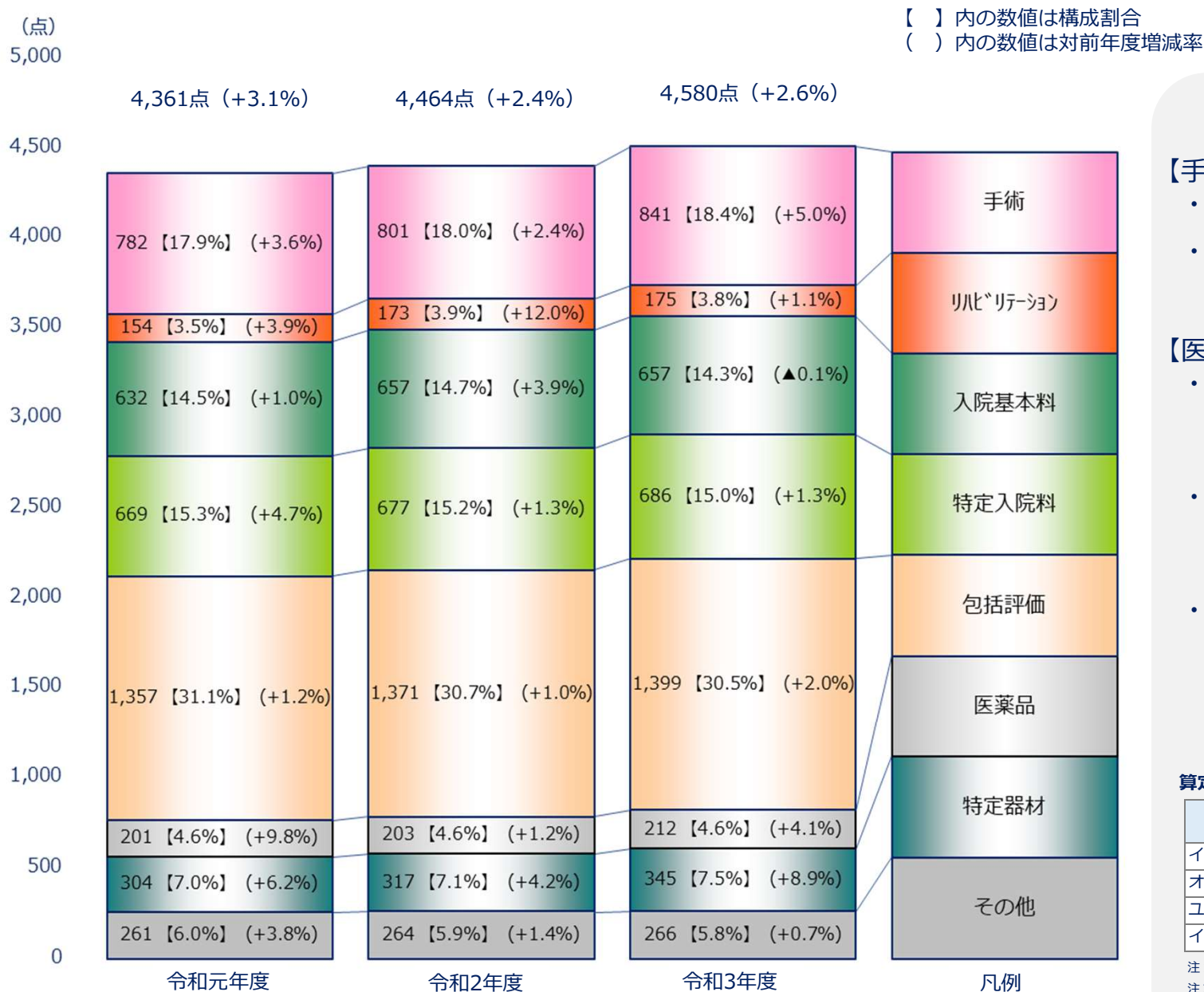


コロナ関連点数

- ・ 一類感染症等（法別28）の公費対象点数
- ・ 診療報酬上臨時的取扱点数
- ・ 感染症対策実施加算



電子レセプト 医科入院 1日当たり点数の診療行為大分類別推移（コロナ関連点数除く）



令和3年度における主な増減要因

【手術・特定器材】の増加

- ・全体的な手術の算定回数増加の影響
- ・体外ペースメーカー用電極におけるより高額な特定器材への変更の影響

【医薬品】の増加

- ・イミフィンジ注射薬（非小細胞肺癌）の効能効果の追加（進展型小細胞肺癌）に伴う算定回数増加の影響
- ・オブジーボ注射薬（非小細胞肺癌等）の効能効果の追加（食道癌、胃癌等）に伴う算定回数増加の影響
- ・ユニツキシンの注射薬（大量化学療法後の神経芽腫、令和3年8月薬価収載）、イズカーゴ注射薬（ムコ多糖症Ⅱ型、令和3年5月薬価収載）の算定回数増加の影響

算定回数の推移

	薬価(円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率(%)
イミフィンジ	101,807	6,687	12,735	28,261	121.9
オブジーボ	366,405	6,158	6,437	9,935	54.3
ユニツキン	1,365,888	-	-	816	-
イズカーゴ	251,030	-	-	4,040	-

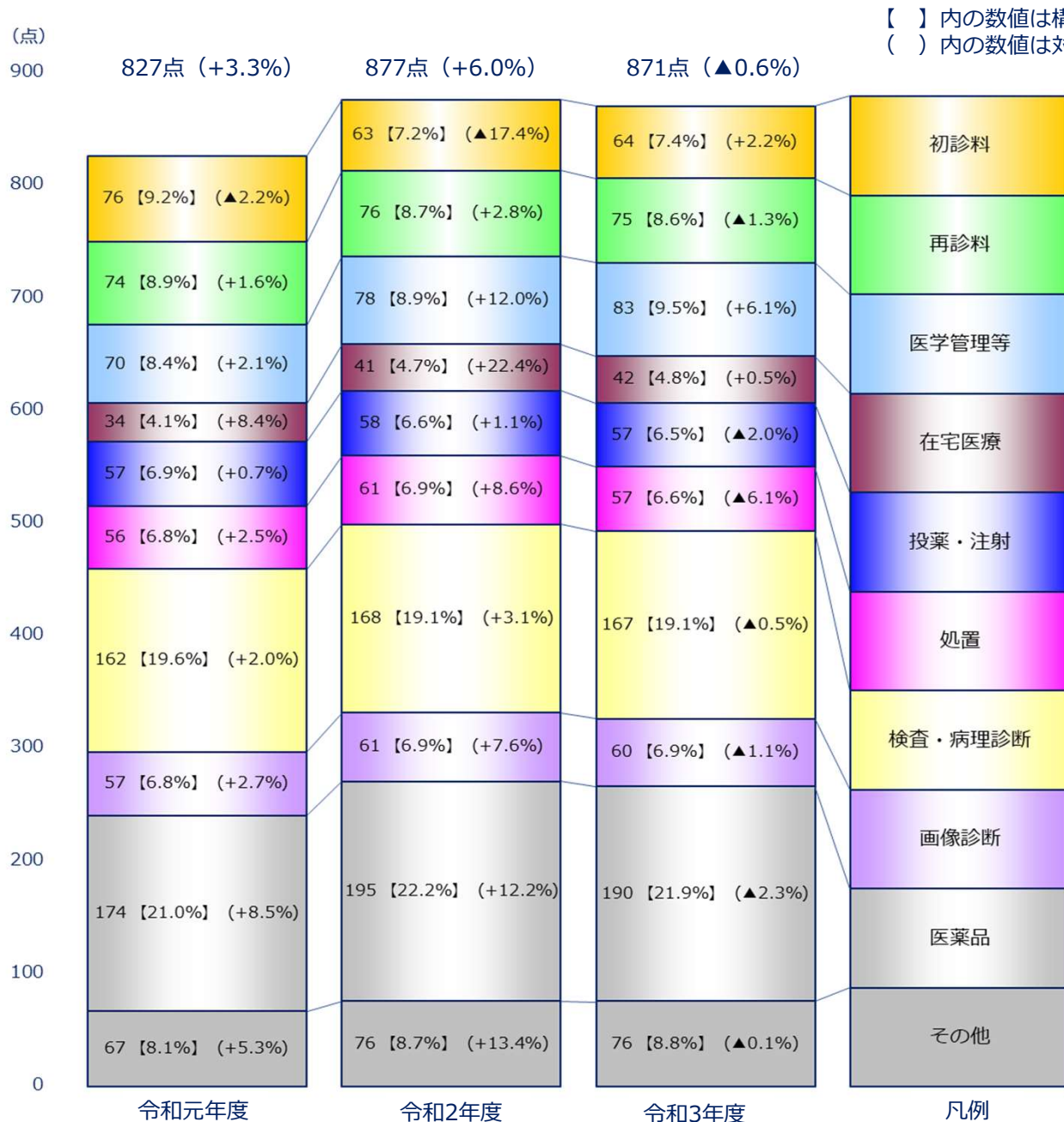
注1) 薬価は令和4年3月時点

注2) イミフィンジは120mgの薬価であり、算定回数は120mgに換算している

注3) オブジーボは240mgの薬価であり、算定回数は240mgに換算している

注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
注2) コロナ関連点数は除く

電子レセプト 医科入院外 1日当たり点数の診療行為大分類別推移（コロナ関連点数除く）



令和3年度における主な増減要因

【医学管理等】の増加

令和2年4月診療報酬改定により対象年齢が拡大（3歳未満→6歳未満）された小児科外来診療料及び小児かかりつけ診療料の算定回数増加の影響

算定回数の推移

(単位：万回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率 (%)
小児科外来診療料	1,363	1,242	1,640	32.1
小児かかりつけ診療料	249	252	344	36.7
【参考】対象人口 (単位：千人)	2,845 (0～2歳)	5,705 (0～5歳)	5,632 (0～5歳)	▲1.3

注) 対象人口は「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の各歳別人口（千人単位）を集計したもの

【処置】の減少

日数の増加（+7.3%）に対して処置の総点数は微増（+0.8%）

人工腎臓（加算除く）の延べ日数の減少

人工腎臓（加算除く）の延べ日数の推移

(単位：万日)

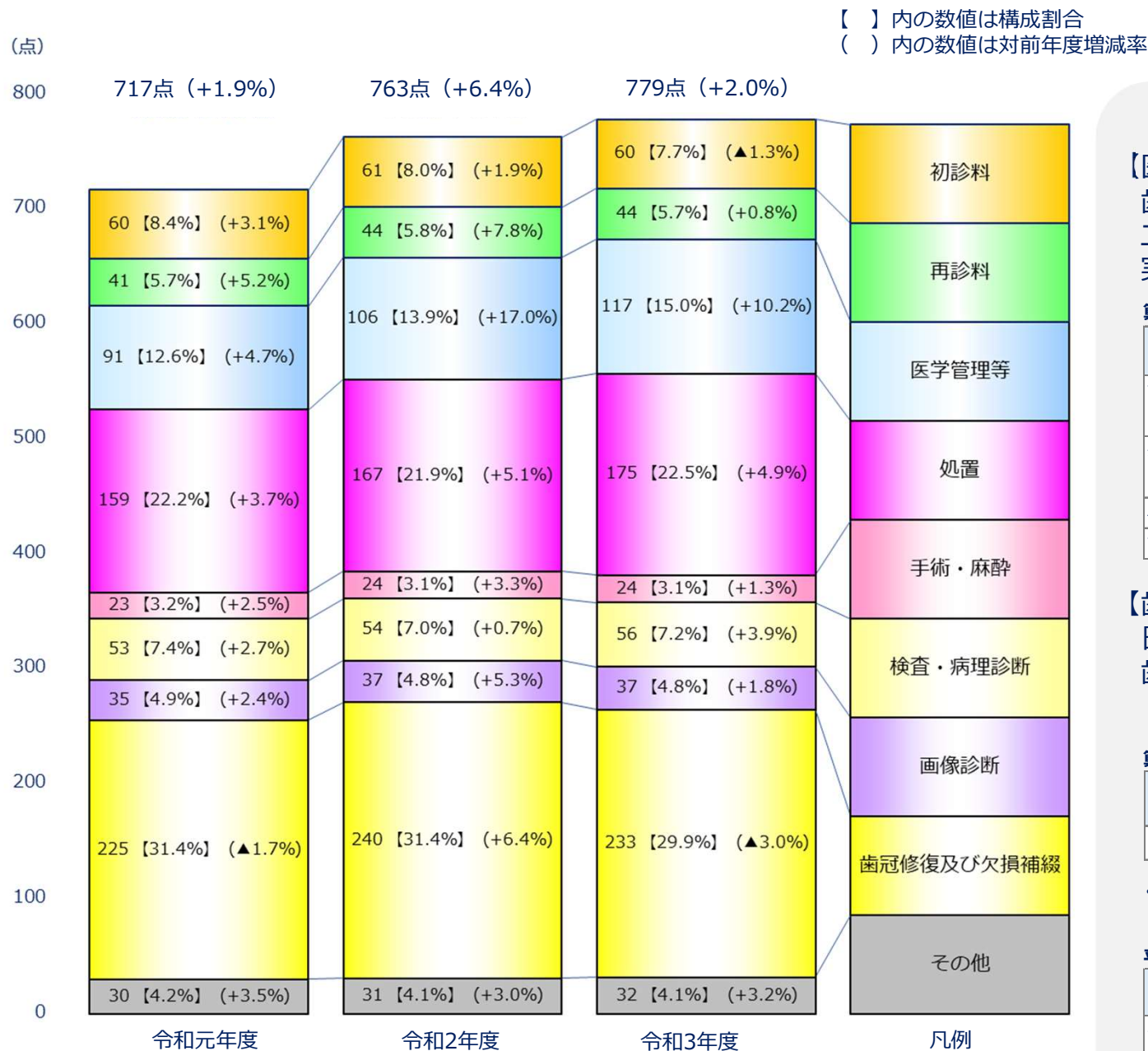
令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率 (%)
1,237	1,249	1,243	▲0.5

【医薬品】の減少

令和3年4月の薬価改定（引下げ）の影響

注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
注2) コロナ関連点数は除く

電子レセプト 歯科 1日当たり点数の診療行為大分類別推移（コロナ関連点数除く）



令和3年度における主な増減要因

【医学管理等】の増加
 歯科疾患管理料とその加算（長期管理加算、
 エナメル質初期う蝕管理加算）及び歯科衛生
 実地指導料の算定回数増加の影響

算定回数の推移 (万回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度 増減率 (%)
歯科疾患管理料	11,047	10,728	11,649	8.6
(再掲) 15歳未満	2,007	1,950	2,138	9.6
長期管理加算	-	3,088	3,956	28.1
(再掲) 15歳未満	-	454	628	38.1
エナメル質初期う蝕管理加算	356	434	511	17.7
歯科衛生実地指導料	6,980	6,754	7,463	10.5

【歯冠修復及び欠損補綴】の減少
 日数の増加 (+2.8%) に対して
 歯冠修復・欠損補綴の総点数が減少 (▲0.2%)

・歯冠修復・欠損補綴の算定回数の減少

算定回数の推移 (百万回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度 増減率 (%)
歯冠修復・欠損補綴	257	242	236	▲ 2.7

・歯科用材料価格の改定に伴う増加
 (歯冠修復・欠損補綴に占める割合26%)

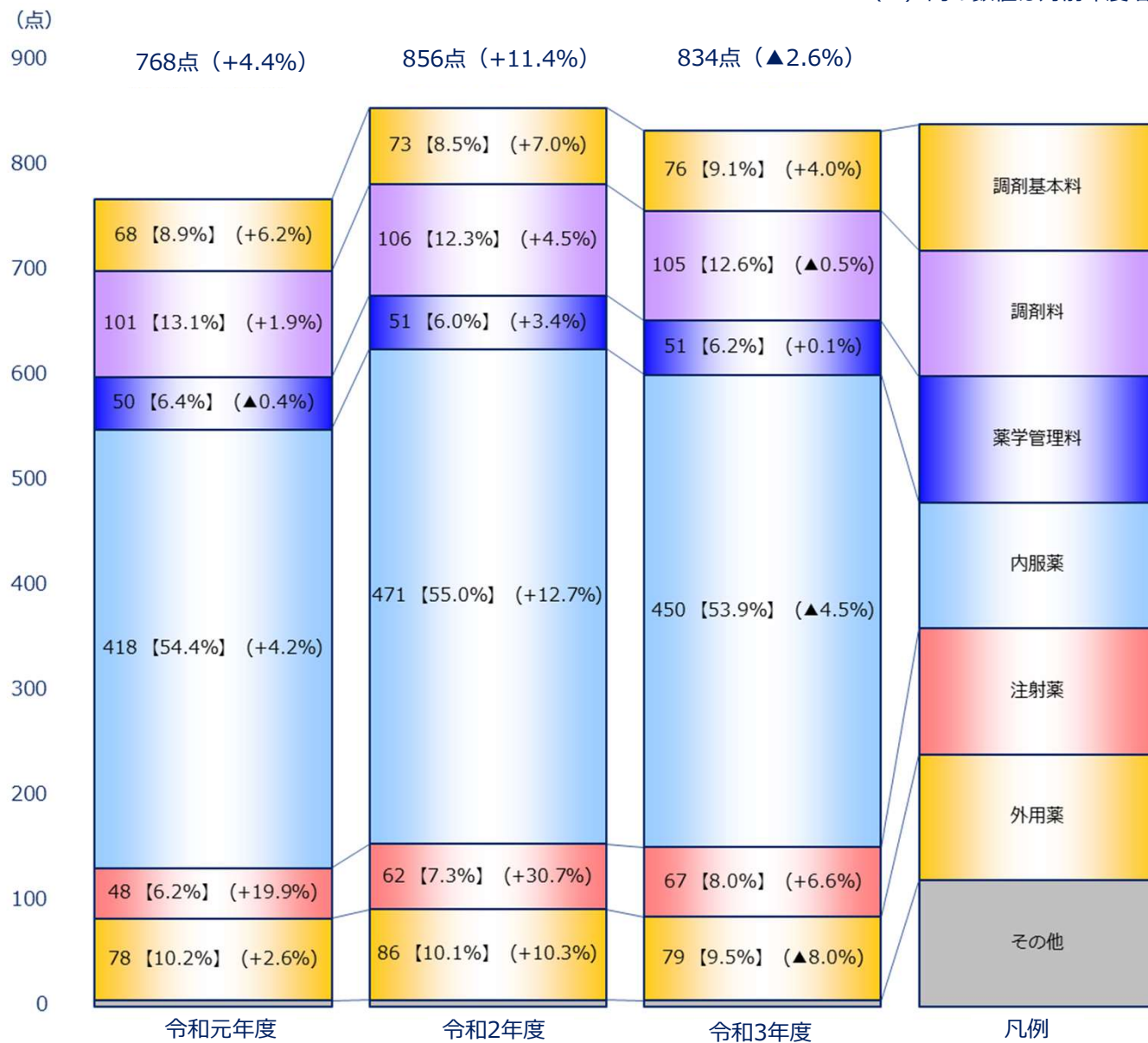
平均所定点数の推移 (1回当たりの点数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度 増減率 (%)
材料平均	84.7	110.4	118.6	7.5
金属材料	375.6	556.4	628.8	13.0
非金属材料	28.6	29.8	31.1	4.3

注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
 注2) コロナ関連点数は除く

電子レセプト 調剤 1日当たり点数の診療行為大分類別推移（コロナ関連点数除く）

【 】内の数値は構成割合
 ()内の数値は対前年度増減率



注1) 構成割合の3%未満の診療行為大分類は「その他」に集計
 注2) コロナ関連点数は除く

令和3年度における主な増減要因

【調剤基本料】の増加

- 後発医薬品調剤数量割合の高い調剤薬局が増えた影響

後発医薬品調剤体制加算別 算定調剤薬局数（月平均）

後発医薬品調剤数量割合		令和2年度	令和3年度
算定なし		13,687 [23.7%]	11,831 [20.2%]
加算1	15点 75以上80%未満	5,731 [9.9%]	5,232 [8.9%]
加算2	22点 80以上85%未満	13,569 [23.5%]	12,686 [21.6%]
加算3	28点 85%以上	24,720 [42.8%]	28,961 [49.3%]
計		57,707 [100.0%]	58,710 [100.0%]

注) 【 】内の数値は構成割合

- 地域支援体制加算の算定調剤薬局数増加の影響
 (月平均)

令和2年度	令和3年度	対前年度増減率 (%)
18,849	20,510	8.8

【内服薬】の減少

令和3年4月の薬価改定（引下げ）の影響

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率 (%)
1日当たり延べ薬剤数	2.5	2.3	2.4	0.5
延べ薬剤数当たり投与日数	21.1	25.5	25.2	▲1.3
投与日数当たり点数	8.1	7.9	7.6	▲3.8

【注射薬】の増加

デュピクセント注射薬（アトピー性皮膚炎等）の算定回数の増加、院外処方進展の影響

デュピクセント注射薬の算定回数の推移

令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年度増減率 (%)
71,915	170,268	327,540	92.4